

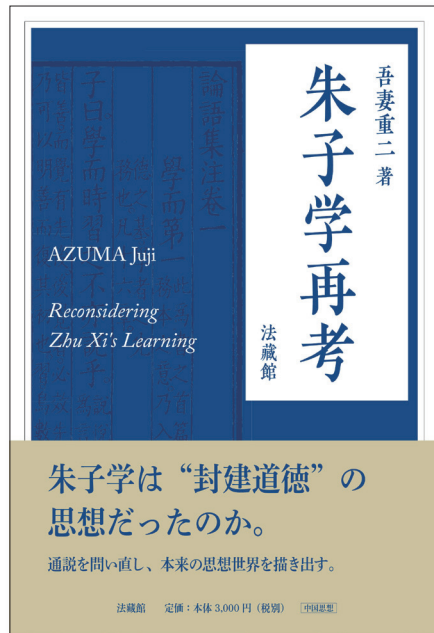
朱子学再考

あずまじゅうじ

吾妻重二「著」（関西大学名誉教授）

四六判・上製カバー・三五二頁・定価三、三〇〇円（税込）

2026 年 10 月刊行



私たちは朱子学を誤解してきたのではないか。「封建的」「抑圧的」「男尊女卑」と語られてきた朱子学。史料を丹念に読み直し、教育や儀礼の解放、権力への批判など、これまで見過ごされてきた朱子学の新たな姿を描き出す。

三 朱熹の用法2——五常をめぐる

小 結

朱子学再考3——君主論をめぐる

はじめに

一 「読余隠之尊孟弁」について

二 司馬光「疑孟」をめぐる

三 李覲「常語」をめぐる

四 鄭厚「藝圃折衷」の「吾其為

東周乎」をめぐる

五 司馬光・李覲と朱熹の対比

小 結

朱子学再考4——婚姻と女性観を

めぐる

はじめに

一 再嫁をめぐる再考

二 「男尊女卑」の再考

三 「家礼」と婚姻をめぐる誤解

小 結

朱子学再考5——理は氣を生むか

はじめに

一 理とは何か

二 理と氣の關係

三 理は氣を生むか

小 結

朱熹の釈奠儀礼改革について

はじめに

一 構 想

二 実 践

小 結

周惇頤の名について——敦頤か惇

頤か

周惇頤の墓——その歴史と現況

はじめに

一 周惇頤の墓

二 周惇頤の顕彰と墓の修復

三 清末光緒年間における整備

四 常盤大定の調査

おわりに——文革以後、現在ま

で

付 記

宋代の思想

一 近世の始まり

二 儒教の復興

三 儒教の発展

四 仏教と道教の展開——禅

宗、玉皇大帝、「悟真篇」

五 朱子学の成立——朱熹

六 南宋儒教の展開——思想家

列 伝

参考文献

関連年表

コラム 冠婚葬祭と東アジア

後 記

【著者略歴】1956年茨城県生まれ。早稲田大学第一文学部卒業、同大学大学院文学研究科博士後期課程単位取得。博士（文学）、博士（文化交渉学）。現在、関西大学名誉教授、泊園記念会会長、日本中国学会顧問。専攻は中国思想史、儒教史、日本漢学史。主な著訳書：馮友蘭『中国哲学史 成立篇』（共訳、富山房、1995年）、熊十力『新唯識論』（訳注、関西大学出版部、2004年）、『朱子学の新研究—近世士大夫の思想史的地平』（創文社、2004年）、馮友蘭『馮友蘭自伝—中国現代哲学者の回想』1・2（訳注、平凡社東洋文庫、2007年）、『宋代思想の研究—儒教・道教・仏教をめぐる考察』（関西大学出版部、2009年）、『泊園書院歴史資料集』（関西大学出版部、2010年）、『朱熹《家禮》實證研究』（上海・華東師範大学出版社、2012年）、『朱熹《家禮》宋本彙校』（上海古籍出版社、2020年）、『中国現代哲学の探究』（関西大学出版部、2026年）、『朱子学再考 続』（法藏館、2026年）など多数。

ご注文は FAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

中国思想

注文書

（書店名）

ご担当

様 冊

法藏館

三、三〇〇円（税込）

吾妻重二「著」

朱子学再考

ISBN978-4-8318-5768-2 C1010

ご住所

お電話

お名前